



田村剛一議員

## 町づくり

# 町長の目指す理想の町とは

## 独自性を発揮する町

**質問** 四年前、「小さくてもキラリと光る町」を掲げ沼崎町長が誕生した。今回の所信には、そのような言葉はない。四年前と今回とは町づくりのビジョンが変わったのか。また、町長が描いている理想の町とはどのような町か。

**沼崎町長** 「小さくても」の表現がなくても、町づくりの考えは基本的に変わらない。

わっていない。ただ、予測をはるかに超える財政状況の厳しい中で、残念ながら多くの事業を見直さざるを得ず、施策の選択肢が狭められているのも事実。基本的な方向性は所信表明に示したつもりである。

**質問** 一期目は黒澤町政の継続としても、二期目はどうも沼崎色を出してもよかったですのではないかと。

**沼崎町長** 継続事業として公共下水道、土地区画整理事業などがある。この事業は、今後も推進していかねければならない。本町には福祉憲章条例や町民憲章などがある。その理念を守り目標に向かって進む中、独自性を発揮するのが理想の町。水産グループ21、魅力発信事業など評価されてしかるべきと自負する。

## 町の考えを聞く



平成17年度に改築の山田病院は、医師確保・診療科目・医療設備の充実が課題です。(県立山田病院)

## 県立病院 町民が安心できる病院に 町の中核病院として期待

**質問** 県立山田病院は、十七年度改築移転となっている。最終的設計段階に入っていると思われるが、医師確保、診療科目、医療設備など町の要望は生かされているのか。新病院への交

通アクセスはどうなるのか。

**沼崎町長** 診療科目は現状と同じ。医師の配置がないと開業許可がおりないことから、医師は配置されるものと考えている。最新の医療機器導入には厳しい回

答だが継続して要望していく。交通アクセスについても県北バスと協議していく。

**質問** 現在の山田病院には優秀な医師がいると聞く。一方、新病院は交通が不便で医療設備が民間に劣るのではと心配する町民がいる。心配を払拭し、信頼される新病院にしてみたい。

**沼崎町長** 今の病院に近い人には不便かも知れないが他の地区の人達は今と変わらない。新病院は町の中核病院として十分機能を果たすものと期待している。



山田まつりに合わせて実施された山田の魅力発信実行委員会主催の「やまだエンタテインメントカーニバル」